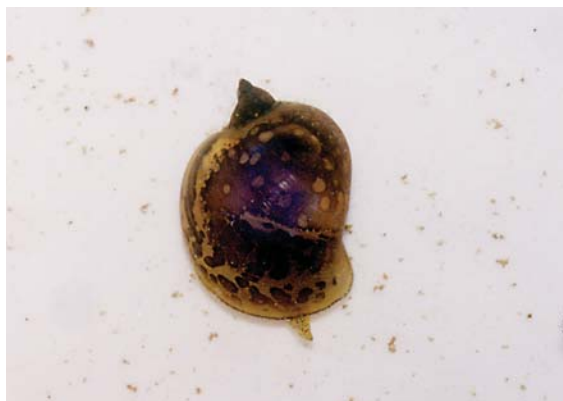


# モノアラガイ

*Rhyacophila nigrocephala*

モノアラガイ科



モノアラガイ

魚類

## 名前の由来

不明。漢字名：不明

底生動物

## 特定種

国レッドリスト (2007) : 準絶滅危惧 (NT)

両生類  
爬虫類

## 形態的特徴

殻は卵円形、薄質、半透明で右巻き。体色は黄土色に黒紋があり、触角は三角形で幅広い。

蓋は無い。

類似種と見分け方：ヒメモノアラガイ。

殻高約25mm、殻径約20mmになる。螺塔（殻の先の部分）が低い。殻口が大きく、殻高の5分の4を占めることがある。

ヒメモノアラガイは小型でやや細長く、殻口は殻高の3分の2程度である。

トンボ

## 生息環境・分布

川の淀み、池沼、水田などの水草や礫に付着している。

北海道内では、普通に分布。

分布：国外分布は、朝鮮半島。

十勝地方では、普通に分布。

国内分布は、北海道～九州。

チョウ

樹木

## 食性・他の生物との関わり

付着藻類・動物の死体など有機物全般をヤスリのような歯舌で削り取って食べる。

ホタルや捕食性水生動物の餌となる。

(在来種) 草花

## 繁殖生態・寿命

雌雄同体で集団で交尾をすることもある。6月ころから長さ10mm程度のゼラチン質の卵かいを産む。卵は2～3週間

で孵化する。稚貝の成長は早く2ヶ月後には繁殖できる。

(外来種) 草花

## 興味深い話

■ 三角形の触角の下に小さな目があり、とてもかわいらしい生き物である。丈夫であり、小さな水槽でも旺盛な繁殖力でどんどん増えていく。北海道では普通に見られるが、

本州では減少傾向にある。

■ 「肝蛭」の中間寄主でもあるので触ったら手を洗うべきである。

哺乳類

## 配慮事項

浅くて流れが緩やかな淀みと水生植物が一体となった環境が必要とされる。

(水辺) 鳥類

## 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
確認できる時期				■								

(草原) 鳥類  
ワシ、タカ、樹林

## 参考文献

「日本動物大百科 7 無脊椎動物」日高敏隆 平凡社 1997

「農村の水辺の生き物」のホームページ 農林水産省 (財)自然環境研究センター <http://www.denen.maff.go.jp/InterServ/MULTIMEDIA/html/contents/ikimono/intro.html>

「川の生物図典」財団法人リバーフロント整備センター 1996

「標準原色図鑑全集 3 貝」波部忠重・小菅貞男 保育社 1991

「日本の貝」奥谷喬司 小学館 1992